

# 建設情報 Iwate

## 9.1%増の91億7700万円に 旧朴館 保存修理事業など計画

25年度戸  
算町

一戸町の25年度当初予算は、一般会計の総額が前年度当初と比較し（以下同）9.1%増となる91億7700万円となった。普通建設事業費は、45.5%の大幅増となる11億2408万円。投資的事業を積極的に盛り込み、増額となった。主な事業は、旧朴館家住宅保存修理事業、町道の整備や維持補修、橋梁補修などを計画している。

歳入では、町税が、前年度実施された住民税定額減税の減収分の戻りを反映し個人町民税で増となることを要因に個人町民税は例年の実績ベースを加味して増を見込んだ。投資的事業を多く盛り込んだことで、国庫支出金が大きく増となっているほか、県支出金や町債なども増を見込む。繰入金も同様の要因で増で、必要な財源を確保した。

歳出の性質別は、普通建設事業費が補助、単独、県営事業負担金のいずれも増で、特に補助と県営事業負担金の増が目立つ。災害復旧事業費は前年度と同額で、整理科目のみを計上している。

目的別で見ると、旧朴館家住宅保存修理事業を盛り込んだ教育費が大幅増となっているほか、土木費も町道整備や町道維持補修などについて前年度から予算が上乗せとなっており、大きく増。農林費や総務費など、軒並み増となっている。

当初予算に盛り込まれた主な事業は、前年度に修理に向けた設計を進めた旧朴館家住宅で施工に入る予定で、3億655万6000円を確保する。国指定文化財の旧朴館家住宅の保全を図るため、改修工事を進めていく。

町道関係では、町道維持補修事業に2億799万4000円、町道整備事業に1億3624万4000円を、それぞれ充てる。維持補修は、道路維持作業や施工などを実施する。町道整備に関しては、摺鉢平線や中田線で改良工事を見込むほか、名子根線の測量設計、岳川西岳スキー場線での融雪設備測量設計などを計画している。

新規の扱いとしている橋梁維持事業では、定期点検に4425万円を措置している。橋梁の補修では、6700万円を盛り込み、相ノ山橋な

どで補修工事を進めたい考えだ。

このほか、土木費には、県が進める都市計画道路上野西法寺線第3期の街路事業への負担金に3192万8000円を計上した。都市計画マスタープランおよび立地適正化計画策定、町営住宅・子育て支援住宅の修繕なども予定している。

農林費は、農道橋の改修に8000万円を充て保全対策を実施。県営のは場整備事業への補助金なども盛り込む。

教育費は、廃校施設処分計画に基づき進める、旧平糠小中学校の解体に7045万円。屋内ゲートボール場では、施設の長寿命化を図るため屋根や外壁を改修する。鳥海小学校を地区センターとして利用するため各所の改修、小中学校の改修なども予定している。

商工費では、老朽化している奥

### 2025年度・一戸町一般会計当初予算

【歳入】		（単位：千円、%）	
科 目	予算額	伸び率	
町 地 方 税	1,576,977	2.1	
地 方 譲 与 税	145,300	2.8	
利 子 割 交 付 金	3,000	50.0	
配 当 割 交 付 金	3,200	45.5	
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	3,100	40.9	
法 人 事 業 税 交 付 金	19,184	10.8	
地 方 消 費 税 交 付 金	299,688	5.7	
環 境 性 能 割 交 付 金	7,400	4.2	
地 方 特 例 交 付 金	4,000	△ 90.9	
地 方 交 付 税	3,480,067	5.1	
交 通 安 全 策 特 別 交 付 金	700	△ 22.2	
分 担 金 及 び 負 担 金	23,711	30.5	
使 用 料 及 び 手 数 料	53,804	△ 1.3	
国 庫 支 出 金	1,021,690	45.5	
県 支 出 金	679,987	5.0	
財 産 取 入 金	51,595	5.3	
附 属 入 金	190,201	△ 13.5	
繰 越 入 金	652,470	38.5	
繰 越 収 入 金	1	-	
諸 収 入 金	283,825	0.1	
町 債	679,800	10.4	
歳 入 合 計	9,177,000	9.1	

  

【歳出】		（単位：千円、%）	
科 目	予算額	伸び率	
議 会 費	106,957	3.1	
総 務 費	1,216,036	8.9	
民 生 費	2,540,301	4.6	
衛 生 費	807,579	3.5	
農 林 費	5,245	△ 17.7	
農 業 費	657,418	7.7	
商 工 費	359,106	1.0	
土 木 費	769,122	32.1	
消 防 費	391,218	△ 20.1	
教 育 費	1,525,315	31.9	
災 害 復 旧 費	2	-	
公 債 費	785,561	2.1	
予 算 外 支 出 金	6,140	-	
予 備 費	7,000	-	
歳 出 合 計	9,177,000	9.1	

  

【性質別歳出】		（単位：千円、%）	
科 目	予算額	伸び率	
普 通 建 設 事 業 費	1,124,080	45.5	
補 助 事 業 費	568,029	109.5	
単 独 事 業 費	502,946	3.2	
県 営 事 業 負 担 金	53,105	286.1	
災 害 復 旧 事 業 費	2	-	

## セントラルコンが大川目の築堤設計 ＝県久慈審査指導監＝

県北広域振興局久慈審査指導監は、簡易総合評価落札方式（簡易2型）で「二級河川久慈川筋大川目地区築堤詳細設計ほか業務委託」を入札した結果、セントラルコンサルタントが3363万4500円で落札した。

この業務は、久慈川水系の河川改修事業実施のため、過年度成果

品を加味し、詳細設計などを行うもの。委託期間は253日間を予定している。

業務対象地域は久慈市大川目町地内で、業務内容を見ると、測量0.29㎡、築堤詳細設計一式、樋門詳細設計1基、地質調査一式など。

この業務は県土整備部BIM/CIM適用業務（発注者指定型）の対象で、▽出来上がり全体イメージの確認▽特定部の確認（2次元図面の確認補助）▽鉄筋の干渉チェックについて、3次元モデルを作成または更新し活用する。

## ニュースのお知らせ 〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33 本社編集部へ TEL (019) 623-8201 FAX (019) 623-8204

中山高原センターハウスのリニューアルに向けた設計に1114万3000円を措置する。サラダボウル・こずやでは、屋根と外壁の改修を計画。道の駅については、不動産鑑定評価を予定している。

民生費は、新規の特別養護老人ホーム・高齢者グループホームへのエアコン設置に2000万円など。総務費では、有線共聴設備更新補助事業に7194万円を盛り込み、テレビ難視聴地域解消のため、テレビ共同受信組合に対して設備更新工事に係る費用を助成する。

事業会計については、水道事業の資本的支出が3億8792万円で、水道施設改良・更新工事などを進める。

下水道事業は、公共下水道事業の資本的支出に4億7298万8000円を計上し、処理場の更新や設計、ストックマネジメント計画を推進する。農業集落排水事業の資本的支出は2012万1000円で汚水柵設置工事など。生活排水処理事業の資本的支出が4124万9000円となり、浄化槽の設置などを計画している。

# いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



## 災害から10年

…被災地の絆と記憶を次世代につなぐ「広島市豪雨災害伝承館」

岩手大学名誉教授（前岩手大学農学部森林科学科砂防学研究室教授） 井良沢 道也

近年、毎年のように日本のどこかで洪水、浸水災害や土砂災害が発生しています。一般に、地震や津波に比べ、洪水、浸水災害や土砂災害は局所的であるため、災害の伝承がなされないケースが多いと思います。こうした中、平成28年（2014年）に広島市で77人が犠牲になった「平成28年8月20日発生広島土砂災害」の教訓を伝える伝承館が23年9月1日にオープンしました。本災害の犠牲者のほとんどは土石流など土砂災害によるものです。伝承館は豪雨による土石流などで53人が犠牲となった被災地である広島市安佐南区八木地区にあります。平成28年当時広島市が行った被災地の住民アンケートでは、自分の居住地が危険・やや危険と認識していた人は半分以上でした。



2014年8月広島市の新興住宅地などを直撃し犠牲者77名を出した土石流災害（写真：国土地理院提供）

24年6月6日（木）に令和6年度（第42回）土砂災害防止「全国の集い」in広島が国土交通省と広島県の主催により開催され、筆者も「集い」に参加するとともに、「広島市豪雨災害伝承館」を見学することができました。松井憲副館長にインタビューすることもできました。

23年9月にオープンした「広島市豪雨災害伝承館」の概要は以下の通りです。

- ・所在地：広島県広島市安佐南区八木3丁目24-23
  - ・開館時間：10:00～17:00
  - ・休館日：月曜日、休日の翌日（直後の日曜日、土曜日または休日でない日）、8月6日、年末年始
  - ・入館料：無料
  - ・研修室1～3：1階。避難所としての使用も想定されています。
  - ・展示エリア：2階
- 本伝承館は、広島市豪雨災害伝承館条例に基づき広島市が設置したもので、市の指定管理者となった「梅林学区復興まちづくり協議会」が管理しています。鉄筋コンクリート（地上2階・塔屋1階）で、建築面積は311.53㎡、延べ床面積は496.41㎡です。事業費は総額4億円で、国土交通省と広島市が折半しました。運営費は広島市が支出しています。
- 伝承館の特徴は以下の通りです。
1. 計画の策定から完成、そして運営まで被災した地域の住民（「梅林学区復興まちづくり協議会」）が主体となっています。現在、7名の方が常時つ

めています。全員地域の方で、被災された方もいます。まさに地域で被災された方が、被災の経験を県内外の方々に伝承しています。

2. 2階の展示エリアではパネルや土石流災害のCGなどで当時の災害の状況を学ぶことができます。CGは音響など大変迫力あるものです。また自然災害の備えのポイントなども解説しています。
3. 当時の災害について展示するだけではなく「学ぶ」という大きな役割も目的としています。1階の研修室は、2階の展示エリアよりも面積は広く、最大120人が入ることができます。伝承館ではふだんの備えや避難の方法など、およそ100のカリキュラムが用意され、多くの方が受講されています。

本伝承館は地域の避難場所でもあり、段ボールベッドや簡易トイレなどを備蓄している他、隣接する公園には、かまどの機能を持った「かまどベンチ」が設置されています。

4. 被災後、地区ではお年寄りなど家にこもる人が多くなったため、新しいコミュニティをつくらうと地域の方々は、災害から1年半以上たった平成28年（2016年）4月に造られた被災者の復興交流施設（モンドラゴン）を運営してきました。モンドラゴンはスペイン語で「竜のすむ山」を意味し、災害を忘れず乗り越えようとの思いが込められています。ここではお好み焼きを食べながら気軽に話を交わすことができ、県外からも人が集まる防災拠点になりました。また災害の伝承活動も活発に行われてきました。

本伝承館は復興交流施設（モンドラゴン）のこれまでの伝承活動の流れを引き継ぐものです。土砂災害や洪水・浸水災害の被害は津波や洪水に比べ局所的ですが、毎年日本のどこかで必ず発生し、



2024年6月広島市豪雨災害伝承館の見学者（広島県砂防課提供）

大きな被害を出しています。こうした土砂災害などをメインとした伝承館は全国的に非常に少ないのが現状です（岩手県では北上川学術交流館「あゝぼーと」（一関市）、2008年岩手・宮城内陸地震震災遺構（一関市）、イーハトーブ火山局（八幡平市）などがあります。被災した地域の方々が計画の策定から完成、そして運営までをされている「広島市災害伝承館」を、ぜひ機会があれば訪問してください。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

建築・防水のことならおまかせください  
エコアクション21認証企業

誠実一堅牢

株式会社 熊谷工務店

代表取締役 熊谷 則子

〒020-0013 盛岡市愛宕町9番10号  
TEL 019-623-5465 FAX 019-622-6340  
URL <http://www.kumagaik.jp/>

自然と安全を大切にします

（一社）日本公園施設業協会会員

設計・製作・施工・保守管理  
鉄製・木製・掘木・遊戯施設  
園路広場・修景・運動・休養・便益・管理施設  
体育館・トレーニング・屋外器具  
黒板・掲示板・看板

株式会社 サンプリッチ東北

本社・工場／岩手県北上市藤沢7地割195番地1  
TEL 0197-68-3860 FAX 0197-68-3865

お花と植物と防災用品のお店  
松毬-chichiri-

〒020-0874  
盛岡市南大通1-12-18 松栄館

盛岡劇場向かい

Tel.019-623-3814  
Fax.019-601-7222  
flower@chi-chi-ri.com

【取扱商品】  
消火器/安全靴/安全帯/ヘルメット/作業着/  
危険物標識/メガホンサイレン/AED/  
熊掌速スプレー/防災用品全般 など

穴掘建柱車の操作に必要な  
車両系建設機械(基礎工用)  
技能講習実施中

日程・ご予約はhpへ

0192-55-3990 検索

資格のことなら！  
ご宿泊内・受験申請手続き・  
人材開発支援助成金証明  
など、お手伝いいたします。

岩手県 陸前高田市 物高田自動車学校  
三陸技能講習センター

安心設計で資産を守ります。

全ラインナップ構造計算書OK!!

農機具倉庫・車庫・備蓄倉庫・整備場に!

Vストック 積雪構造

積雪 150cm 対応

（写真は開口9m×奥行6m×軒高3.2m）  
構造設計・施工：日成ビルド工業(株) ※オプション仕様で200cmにも対応可!

販売、レンタルユニットハウスのことならお任せ下さい!

株式会社 東北物産株式会社

紫波郡矢巾町流通センター南三丁目7番12号  
本社 電話(019) 637-2511代  
東支店 電話(0197) 47-3171代

水門工事一式・プラント工事一式

株式会社 及川鐵工所

代表取締役 及川 勝良

本社／〒025-0002 岩手県花巻市西宮野目13-108-17  
TEL (0198)30-2187 FAX (0198)30-2186  
E-mail k-oikawa@crest.ocn.ne.jp

塗装なら641-3355 にお電話下さい。

内外装吹付・建築・橋梁・鉄骨・防水

塗オス装

一般社団法人 日本塗装工業会会員  
岩手県塗装工業組合員

株式会社 塗装工業株式会社

〒020-0125 盛岡市上堂三丁目9番23号  
TEL (019) 641-3355代